

学びをどう実践に活かす？

学生取材レポート

楽典って？

曲を聴いたり、楽器を演奏する上で必要な知識です。例えば、音符の長さや、和音や音階など、楽譜を読み書きするためのルールです。

音楽サービス創造学科ではそれらの知識を学んだのち、実際に既存の曲を編曲します。



音楽サービス創造学科
西田・水野・中元（1年生）
中嶋・金田（2年生）

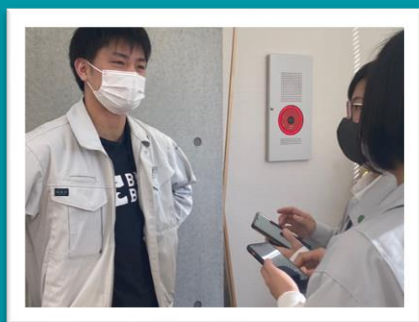
学生のみなさんに インタビュー



学校マスコット音恩レンジャー

正直、楽典の知識は必要？

💡 解説が楽しくなりました！



この学校に進学するまで楽典の知識はあまりなかったので、授業についていけるか心配でした。最初は大変でしたが、楽典にはルールがあるので要点をまとめたりと工夫をするうちに、だんだんわかるようになってきました！
楽典を学ぶことでピアノの譜面が読みやすくなったり、和音構成を解説することが楽しくなりました！

小林くん（1年生 ピアノ経験5か月）

💡 メロディーに深みが出ました！

この学校に進学するまで楽典の勉強はしていませんでしたが、なんとなく曲は作っていました。楽典の授業を受けてからは、理論を意識するようになり、楽器それぞれの音色やコード進行、メロディーに深みを持たせることができるようになった感じがします！また、二年次にDTMの授業で作曲する機会があるので楽典で得た知識を活かせたらと思います。



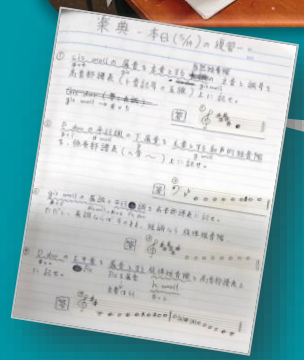
鄭くん（2年生 ギター経験3年）



楽譜の読み方や書き方、楽譜の情報の読み取り方がわかりようになると、楽譜をより深く理解することができるようになり、音楽の表現の幅が広がります！



楽典



ピアノ用の楽譜を管楽器用の楽譜に書き換えるなど、曲や楽器の構成を変え楽譜を製作します。時間はかかりますが、完成したときの達成感はとても大きいです！



編曲 (DTM)



演奏 (アンサンブル)



2人以上でアンサンブルを組んで、編曲した曲を発表します。より良い編曲になるように試行錯誤しながら練習をしています。演奏の授業は、1年生と2年生の合同授業です。例年では上半期に吹奏楽、下半期ではアンサンブルを組み演奏します。



音楽サービス創造学科
田近先生



2019年撮影

演奏活動は学内だけではなく、今年度はコロナにより自粛ですが地域のお祭りや児童施設、老人ホーム、公共の施設など、さまざまな場所で活動しています！お客さまに「どのように楽しさを伝えようか」などを考えたり、楽器の構造や役割を詳しく理解したり、演奏者を支えていく技術者として学ぶことが多いです。これらの学びを通して、さまざまな楽器に興味・関心がわき、学生同士で情報共有することができるため、自分にできない楽器やジャンルの垣根を超えて音楽を知ってほしいです。

